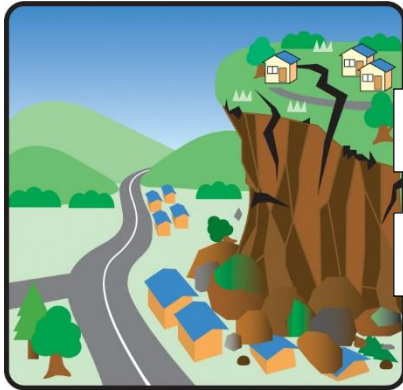


がけ崩れ

急な斜面（がけ）が崩れることを、がけ崩れといいます。主に雨水や雪解け水が斜面に大量にしみこむことによって起こります。

土石流や地すべりと比べて、一瞬のうちに大量の土砂が崩れ落ちるため、逃げ遅れて亡くなる人が多いという特徴もあります。

どんな現象？



斜面が突然、一気に崩れる

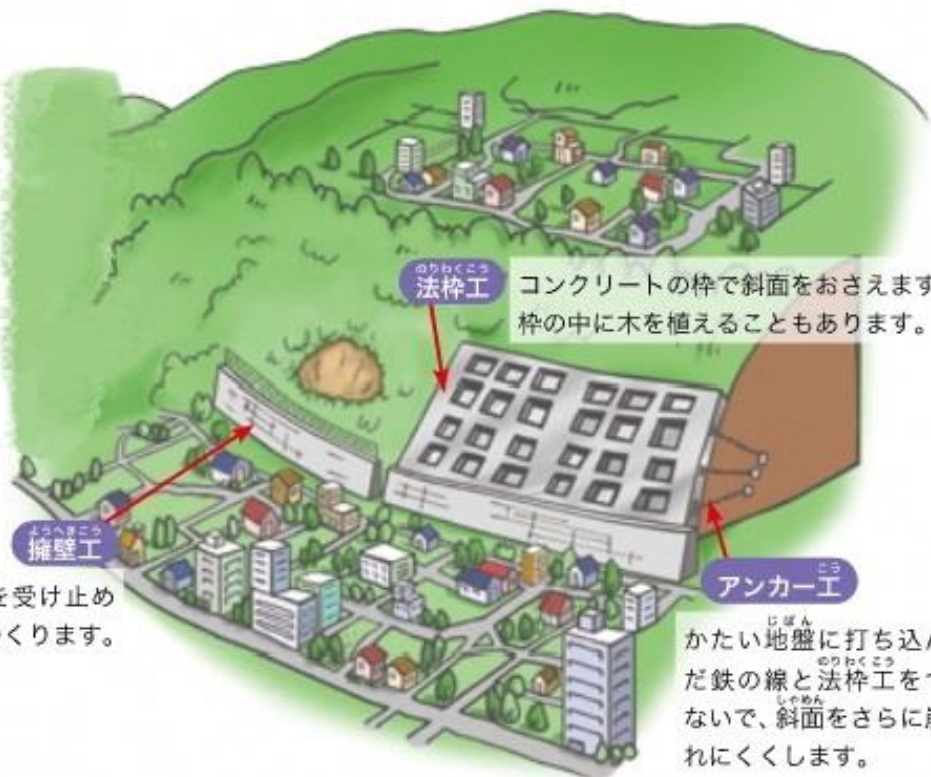
がけの下の家が土砂でうまる

前ぶれ

1. 小石がパラパラ落ちてくる
2. 斜面にひび割れができる
3. 斜面から濁った水が湧き出る
4. 木が揺れたり傾いたりする
5. 湧水の量が急に増える



どうやって防ぐの？



崩れた土砂を受け止める壁や柵をつくります。

のりわくこう
法枠工

コンクリートの枠で斜面をおさえます。
枠の中に木を植えることもあります。

アンカー工

かたい地盤に打ち込んだ鉄の線と法枠工をつないで、斜面をさらに崩れにくくします。

がけ崩れ災害を防ぐ対策

のり枠工

コンクリートの四角形の枠を設置して、斜面が崩れるのを防ぎます。



擁壁工

斜面の下にコンクリートの壁や鉄の柵を設置して、落ちてきた土砂を受け止めます。

